

平成28年度第1回大分県協働推進会議 議事録

日時：平成28年9月2日（金） 13：30～15：30

出席者：荒川孝二委員、池永哲二委員、衛藤めぐみ委員、岡田正彦委員、
小川裕子委員、後藤英二郎委員、後藤寿之委員、高倉啓子委員、
田島信太郎委員、谷川真奈美委員、村野淳子委員、山下年生委員、
渡邊由美子委員

公益財団法人おおいた共創基金 岡正美業務執行理事兼事務局長
(事務局)

生活環境部長 柴田尚子、消費生活・男女共同参画プラザ所長 後藤素子、
次長 佐藤誠一郎、県民活動支援室長 石垣和之、主幹 大屋玲恵、
主査 安倍誠、主査 伊東大樹、主任 関悦子

1 開会

(1) 委員自己紹介
(議事録省略)

(2) 会長選任
・岡田正彦委員が会長に選任された。

2 【報告事項】

平成27年度の県・市町村の協働実績と平成28年度の県の施策

・事務局から、NPO法人数の推移、県・市町村とNPOとの協働実績、県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」中の“多様な県民活動の推進”の概略、28年度施策、特に「地域を担うNPO協働モデル創出事業」と「NPO現場体験研修～飛び出せ公務員プロジェクト～」について説明した。

(主な意見)

・「モデル事業」では申請前に県担当課とゆっくり話ができるのがありがたい。

3 【議事】

(1) 公益財団法人おおいた共創基金の役割と今後の取組

・公益財団法人おおいた共創基金岡業務理事が、財団の理念、資金調達・講座の開催・アドバイザー派遣など活動内容、自立したNPOを増やす・個々のNPOの声を次年度事業につなげたいといった活動目標について説明した。

(主な意見)

・支援に前向きな企業の情報や支援を受ける方法を教えて欲しい。

- ・集めたい資金額と用途を明確にした「ドネーション・パーティ」に取り組んではどうか。
- ・財団が実施している「ファンドレイジング講座」は良い講師が来ており、資金集めをしたいNPOは参加すると良い。
- ・昨年度、財団からパソコンをもらったが、本当に助かった。手続きも簡単で良かった。
- ・NPOは「思いを形にしたい」と活動しているが、事務手続きや専門用語が苦手なので、視線を底辺に向けて親切な優しい言葉で説明してくれるとありがたい。

(2) 災害発生時の被災者支援における協働のあり方

- ・事務局から、災害ボランティアセンターが果たす役割と、県内にセンターを立ち上げ運営できる人材がかなりいるが市町村ごとにムラがあること、被災者の困りごとがセンターにうまく伝わらないといった課題を説明した。

(主な意見)

- ・災害時は究極の個別支援になるので、ボランティアで活動してくれる市民やNPOの力を借りないと行政だけではきめ細かな支援ができない。
- ・公的機関、NPO、住民が力を合わせて乗り切るために、日常からネットワークができていて、「このことはあの人ができる」といった情報が集まる状況を作っておくことが必要。
- ・混乱の中で自分たちの思いだけを遂げようと行動するとNPO活動全体の評価を下げることにもなりかねないので、「これはNPOがすべき内容か」「本当に必要な人たちのための活動なのか」を見極めたうえで助成や支援を考えないといけない。
- ・災害時のボランティアやNPOの関わりについて、もっとうまく動ける体制作り、仕組みづくりができるように、この件については継続して協議したい。